



PICK UP

豊西小と東風連小が閉校

3月をもって豊西小学校と東風連小学校が閉校しました。2月には在校生をはじめ多くの卒業生や関係者が集まりそれぞれ閉校式が開催され、在校生が校旗を梅野博教育委員長に返還しました

東風連小学校

とき 2月20日(土)
ところ 東風連小学校体育館



豊西小学校

とき 2月27日(土)
ところ 市民文化センターE-N-RAYホール



東風連小106年、豊西小42年の歴史に幕を閉じました

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。



PICK UP

寛仁親王殿下追悼全道ハンディキャップスキー名寄大会

同大会が2月19日に市内ホテルで開会式、20日にピヤリスキー場で競技が行われ、身体に障がいがある方など44人がエントリー。アルペン、クロスカントリー競技に分かれてそれぞれタイムレースと申告タイムレースを競い、選手たちの頑張りにギャラリーから熱い声援が送られました。



大会には寛仁親王殿下の第一女子彬子女王殿下がご臨席されました



PICK UP

テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会が「武四郎まつり」に参加



北海道の名付け親として知られる三重県松阪市出身の探検家・松浦武四郎の功績をたたえる「武四郎まつり」が2月28日(日)に松阪市の松浦武四郎記念館を会場に開催され、アイヌ古式舞踊が披露されるなど、約5,500人の来場者で賑わいました。天塩川周辺11市町村でつくるテッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会では、イベントの中で天塩川の魅力をPRするとともに、名寄市をはじめ9市町の特産品を販売しました。今後は、松浦武四郎生誕200年を迎える平成30年に向け、松阪市との交流を深めるとともに、松浦武四郎の偉大さや北海道遺産である天塩川の魅力を広く発信していきます。

北海道という名称は、明治2年(1869年)に名付けられた

2/20 2015年度 名寄市ホワイトマスター



北国博物館で授賞式が行われ、毎年名寄西小学校でスノーランタンと雪像作りを楽しむ「雪と灯りの集い」を主催する「名寄西小学校父母と先生の会」にホワイトマスターの称号が贈られました。

西小の雪と灯りの集いは平成8年から開催されている

2/19 名寄市民文化講演会



市内ホテルで、「日本文化を未来に伝えるために」をテーマに桐子女王殿下の講演が行われ、オックスフォード大学時代の経験から日本文化の大切さや文化継承についてなどのお話をされました。

講演には多くの市民が集まり聴講

2/21 市立大学短期大学部 卒業公演



市民文化センターEN-RAYホールで開催。2年生48人が演出や道具などすべて分担し、絵本作品「りんごがたべたいねずみくん」と「アレクサンダとぜんまいねずみ」の演劇を披露しました。

最後には2年間の思いを込め学生が作った歌をみんなで合唱

2/20 雪あかりコンサート2016



北国博物館で開催。スノーランタンのほのかな灯りに包まれる中、土別市在住の三木多恵子さん(ファゴット)と旭川市在住の田中三佳さん(ピアノ)による演奏が披露されました。

ファゴットとピアノの美しい音色が館内に響き渡った

2/28 日笠雅人さんの 少年野球教室



名寄出身の元プロ野球選手、日笠雅人さん(過去に中日ドラゴンズ、ダイエーホークスでプレー)を招き、少年野球教室を開催。子どもたちは日笠さんから直接指導を受け、野球の技術を磨きました。

主催は豊西小学校第9回卒業生 日笠雅人を応援する会

2/24 地方創生 タウンミーティング



2回目(今回は12月22日)の開催となった今回は、ふうれん地域交流センターで行われ、北海道大学公共政策大学院院長の石井吉春さんの講演やパネルディスカッションが行われました。

今回のメインテーマは「これまでの10年とこれから」

3/3 中国のジャンプ少年団が
名寄で合宿



中国のスキージャンプ少年団がこの日から29日まで市内で合宿を行いました。中国チームの合宿で少年団は今回初めてのことで、初日には市役所名寄庁舎を訪れ、加藤市長と対面しました。

加藤市長からはエールが送られました

3/6 第34回名寄ピヤシリ
歩くスキー大会



なよろ健康の森クロスカントリーコースで開催され、市内外から400人以上が参加。雪質日本一の名寄の雪を体で感じながら、笑顔で完走を目指しました。

ゴール後には、提供された豚汁や牛乳などで体を温めました

3/6 九度山祭



第4回九度山祭がピヤシリスキー場で開催され、1チーム7人編成の雪合戦を行いました。全12チームの熱戦が繰り広げられ、相手の陣地の旗を取ると観客から歓声が上がりました。

小学生の部4チーム、大人の部8チームが参加

PICK UP ユースオリンピック
カーリング競技で金メダル獲得



2月12日(金)～21日(日)にノルウェー・リレハンメルで行われたユースオリンピック冬季競技大会に佐々木穂香選手(名寄高校2年)と松澤弥子選手(名寄高校1年)がカーリング競技に出場しました。2人は国別混合団体のほか、混合ダブルスに出場し、混合ダブルスで佐々木選手はカナダの選手とペアを組み4位入賞。また、松澤選手も同競技でスイスの選手とペアを組み金メダルを獲得しました。帰国後、3月2日(水)にサンピラー交流館で出場報告会が行われ、佐々木選手が「世界でプレーできたことを誇りに思う。また世界の舞台で戦いたい」、松澤選手が「世界という大きな舞台で戦えてとても良い経験をした。試合中は笑顔を絶やさないようにしました」と感想を述べました。

冬季スポーツの拠点化を目指す本市として大きな励みに

PICK UP 名寄太鼓保存会が
発足50周年



昭和40年(1965年)にピヤシリ太鼓として始まった名寄太鼓保存会が平成27年で発足50年が経過したことを記念して3月5日(土)に記念式典と演奏会が行われました。式典では、藤野光弘会長からのあいさつがあり、その後の演奏会には同会のほか、市内の風連御料太鼓、近隣市町村から5団体が出演し、それぞれ演奏を披露。途中、アトラクションとして民謡とオカリナの披露もあり、最後には、参加した太鼓団体で「大雪連峰太鼓」を合同演奏。会場全体に太鼓の響きが広がりました。

同保存会は長年の活動から、2月29日に平成27年度上川教育実践表彰を受賞

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

3/9

部分日食観望会



日本で4年ぶりの日食の日に市立天文台では観望会が行われました。訪れた市民は天候に左右されつつも、日食メガネや望遠鏡などでいつもと違う太陽のようすを観察しました。

次に名寄で日食がみられるのは2019年の1月

3/7

名寄小 同窓会入会式・円鏡の集い



卒業を控えた6年生42人の同窓会入会式が行われました。その後外に出て、同校前庭の二宮金次郎像の中にタイムカプセルを収め、児童たちはタイムカプセルを開ける日を楽しみにしていました。

タイムカプセルは8年後、20歳になったときに開封予定

3/11

東日本大震災チャリティー ハワイエコンサート



東日本大震災から5年が経過したこの日、チャリティーコンサートを市民文化センターで開催。全2部の構成で、市内で活動する団体が演奏やパフォーマンスを披露しました。

設置された募金箱には多くの支援金が集まりました

3/10

風連日進老人クラブ バスツアー



子育て支援事業の一環として行われている親子おでかけバスツアー。この日はいつもとは逆に風連日進老人クラブの会員14人がバスに乗り、子どもたちのところに行き、交流を深めました。

ビンゴゲームやお買いもの遊びなどを楽しみました

3/15

青木学長退職記念講演



3月をもって退職する青木紀名寄市立大学長の記念講演会が同大学で行われ、「研究から実践、実践から研究へ」をテーマに自身のこれまでの研究などについて講演しました。

平成22年から6年間にわたり学長を務められました

3/12

名寄東中卒業式



担任の先生から一人ずつ名前が読み上げられ、副校長 岡本明彦校長から卒業証書を受け取った同校の85人の卒業生は、在校生や保護者などからの温かい拍手の中、3年間通った学び舎を後にしました。

それぞれ新しい未来に向かってはばたく